

発 刊 に 寄 せ て

鹿児島教育事務所長 谷川 敬

今年度も、地区内の小・中・義務教育学校の先生方から、日々の計画的・継続的な研究・実践に基づいた教育論文・教育実践記録を多数お寄せいただき、ここに、鹿児島地区教育論文・教育実践記録集「波動」第35号を発刊できますことを心から感謝申し上げます。

鹿児島地区の教育論文・教育実践記録集は、押し寄せる波とその様々な波に対応する動きという意味を込め「波動」と名付けられてから、今年で35年目を迎えます。この間、変わることのない教育の本質を捉えた理論や最新の動向及び時代の要請等を踏まえたものなど、多くの優れた実践を紹介し、本地区教育の振興と充実に寄与してまいりました。

令和の「日本型学校教育」の答申においては、「正解（知識）の暗記」、「正解主義」への偏りから脱却し、学びの動機付けや幅広い資質・能力の育成に向けて「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を行っていくこと、学習者を主体として、他者との協働や課題解決型学習などを通じ、深い学習を体験し、自ら思考することすることが求められています。鹿児島教育事務所としても、「思いをつなぎ、夢をかなえる、鹿児島らしい南北300kmの教育実践」をキャッチフレーズに、「未来を切り拓くための能力を伸ばし、社会で自立する力を育む教育の推進」を重点施策の一つに掲げ、確かな学力の定着を図るために、子供たちが「ICT」を日常的に活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った、学習者主体の授業の実現に向けた授業改善を推奨しているところです。

今回応募いただいた教育論文・教育実践記録の作品数は、昨年度を大きく上回り320点でありました。その中には、「個別最適な学び」・「協働的な学び」の工夫や、今日の学校教育を支える基盤的なツールとしての「ICT」を活用した授業づくり、児童生徒の「自己肯定感」を高めるための指導方法を研究・実践された先生方の作品が数多く見られました。急激に変化する時代の中で児童生徒が育むべき資質・能力がどんなものであるか、学校や我々教師に求められていることは何か、日々様々な教育課題に対応されている先生方の思いが伝わってくるものばかりでした。

特に、掲載された11点の論文・実践事例は、今後の各学校・先生方の研究や教育実践、教育課題解決のために多くの示唆を与えてくれるものです。掲載された内容や方法を積極的に活用して指導体制の充実や指導方法の改善に努め、各学校における研究・実践の継続・深化を図っていただきたいと思います。

また、地区研究協力校研究実践資料も掲載しています。思考力、判断力、表現力等を育成し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取組や極小規模校ならではの工夫された指導法改善など、へき地・小規模校を含む本地区の全ての教育活動の場で生かすことができる実践であり、教育資料として参考にさせていただきたいと思います。

最後になりましたが、教育論文・教育実践記録集を発刊するに当たり、御協力・御支援いただきました鹿児島地区教育委員会連絡協議会、各市村教育委員会をはじめ、応募された皆様に厚く御礼申し上げますとともに、更なる研究・実践の継続をお願い申し上げ、発刊のあいさつといたします。